

令和2年度 献血表彰者

昨年度に献血の協力回数が30回または50回に達した人へ、南島原市長感謝状を贈呈しました。献血へのご理解、ご協力ありがとうございました。

●献血回数50回以上…7人

- 川端 清孝さん(有家町)
- 小淵 忍さん(南有馬町)
- 齊藤 千波さん(口之津町)
- 志岐 晴美さん(西有家町)
- 永田 哲也さん(口之津町)
- 松本 真さん(西有家町)
- 森 眞紀子さん(北有馬町)



●献血回数30回以上…6人

- 大平 国泰さん(布津町)
- 黒岩 哲朗さん(加津佐町)
- 林田 克己さん(西有家町)
- 松川 明さん(有家町)
- 松本 憲和さん(西有家町)
- 水島 隆雄さん(深江町)



歯科医師会からのお知らせ

訪問歯科診療のご相談は、下記までお問い合わせください。

図島原南高歯科医師会訪問歯科地域連携室

☎0957-73-6480

●受付…10:00~16:00(月~金)

※祝日は除く



世界禁煙デー 5月31日
禁煙週間 5月31日~6月6日

厚生労働省は、5月31日を世界禁煙デーに、5月31日から6月6日の一週間を「禁煙週間」として定めています。

喫煙はタバコを吸う本人とその周囲の人の健康に影響を与えることが分かっています。

市では健康増進法の一部改正に従い、各公共施設の禁煙・分煙に取り組んでいます。受動喫煙をなくし、喫煙者・非喫煙者が共に気持ちよく施設を利用できるよう、各施設の定めた禁煙・分煙ルールに従って利用をお願いします。



図健康づくり課(南有馬庁舎) ☎73-6641

集団健診を希望する人も
予約をお願いします

感染症対策のため、今年度から集団健診の予約が必要となります。

※受診券は5月中旬に郵送します。

健診は個別健診でも受けられます。

※新型コロナウイルスワクチン接種のため、会場を変更しています。

●口之津地区集団健診

☎6月1日~5日、7日、8日

☎口之津保健センター

●予約受付期間:5月10日~14日

●加津佐地区集団健診

☎6月11日、12日、15日~18日

☎口之津保健センター

●予約受付期間:5月21日~27日

※集団健診を希望する人は、予約受付期間中(土日祝日を除く)に必ず電話予約してください。

予約受付:けんしん予約センター
☎0120-611-711

詳しくは、5月中旬に郵送する「令和3年度 健康診査のお知らせ」でご確認ください。

図健康づくり課(南有馬庁舎) ☎73-6641



なにコマ?

~何に困っているの?一緒に子育てしませんか~

南島原市地域自立支援協議会「こども支援部会」で、パンフレットを作成しました。

「子どものことで気になることがあるけれど、どこに相談したらよいか分からない…」そんな悩みを抱える人のために、相談先をまとめました!お困りのことがありましたら、一人で悩まずに相談しましょう。

南島原市地域自立支援協議会の詳細はこちら



図福祉課(南有馬庁舎) ☎73-6651

データヘルス計画の中間評価報告

図健康づくり課(南有馬庁舎) ☎73-6641

国保被保険者の健康保持増進を目的として策定した「第2期データヘルス計画(保健事業実施計画)」の進捗状況を令和2年度において確認し、事業の評価・見直しを行いました。

本市の健康実態や課題を市民の皆さんに知ってもらい、関係機関とともに脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症を予防し、健康寿命の延伸に取り組んでいきます。

データヘルス計画中間評価後の目標管理一覧表(★は令和2年度追加目標)

健 康 課 題	達成すべき目的	課題を解決するための目標	初期値	中間評価
			H28	R1
● 特定健診受診率、特定保健指導実施率が目標に達成していない。	医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす。	特定健診受診率(目標 60%)	42.7%	45.3%
		特定保健指導実施率(目標 72.0%)	68.6%	65.4%
● 脳血管疾患、虚血性心疾患の新規患者数は減少しているが、総医療費に占める割合は同規模市よりも高い。 ● 人工透析新規患者数、および透析が総医療費に占める割合は減少しているが、同規模市より高い。 ● メタボリックシンドローム該当者の割合が増加している。 ● 健診受診者のⅡ度高血圧(160/100mmHg)以上の人 は減少してきているが、未治療者が3.2%(105人)いる。 ● 健診受診者の糖尿病患者の割合 が増加しており、未治療者の割合が3.1%(147人)いる。	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制する。 			

総医療費に占める脳血管疾患の割合、また、健診結果でのメタボリックシンドローム該当者や糖尿病患者の割合が増加しています(目標管理一覧表 部分)。

市では、健診や保健指導などにより、生涯にわたって心身ともに健康に暮らすことができるよう支援します。

※同規模市とは、国保データシステムに参加している人口5万人未満の市の平均値。